

令和5年度 第3回 県居小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月20日（金） 10時20分から11時30分まで
- 2 開催場所 県居小学校 会議室
- 3 出席委員 早川大介、本多正明、中村恵美子、池田誠子、山田勝夫、稲垣美世子
- 4 欠席委員 中西洋一郎
- 5 学校支援コーディネーター 中根理恵
- 6 学 校 小林延和（校長）、上村仁美（教頭）、中西啓介（教務主任）、
坂口千佳（CSディレクター）
- 7 教育総務課 鈴木陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 1名
- 9 協議事項
○前期学校評価（児童・保護者・教職員）について
○前期学校評価の分析結果、学校からの改善策を受けて
- 10 会議録作成者 CSディレクター 坂口千佳
- 11 会議記録

司会の早川委員から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

次に司会から、議長に本多委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

12 熟議

- 前期学校評価（児童・保護者・教職員）について
- 前期学校評価の分析結果、学校からの改善策を受けて

中西教務主任から資料に基づき、県居小学校の児童、保護者、職員に対して実施した令和5年度前期学校評価アンケートの結果報告があり、アンケートの結果から特に課題と思われる「基本的生活習慣・規範意識の育成」という項目、特に「挨拶ができる子が減った」事について、今後、この課題を重点項目④として改善に取り組む予定であるとの説明があった。

また、資料に基づき、第2回学校運営協議会での重点項目①②③についての話し合いを受けて、現在どのように取り組んでいるか進捗状況の報告、さらに、6年生対象の全国学力調査の結果報告があった。

上記説明を聞き、委員の方々から次の発言があった。

・保護者から「できるだけ授業を中断せずに進めていただきたい」という意見があるがどういう場面なのか。また、「不登校の子にもいい勉強方法があると助かる」という意見があるが、不登校の子にもタブレットを使用するなどして授業の保障をしてはいないのか。（中村委員）

→授業の中断については、具体的な理由は分からないが、おそらく生徒への生活指導で授業の流れが中断する場面ではないかと想像する。生活指導も大事な勉強と捉えているが、もっと授業とのバランスを考えて行うようにしたい。(中西教務主任)

→不登校の児童への指導はケースバイケース。本校ではその子に合ったものを考えて提案している。集団の中で一緒に勉強するのが難しく、タブレットで授業への参加も難しい子が多い。まずは学校に来て集団に慣れることからだと考えている。(小林校長)

・挨拶の問題で、私は子供たちに「小さな人から大きな人に挨拶するもの」と教えている。どちらが先に挨拶をするかという意識を持たせるのが大切ではないかと思う。(中村委員)

・アンケート結果を数値的に評価・判断するのは難しい。同じ質問で、前回よりも良くなった、悪くなったと比較で表す方が分かりやすいのではないか。また、子供はたいてい良い評価を付けるので、悪い評価をつけたところは重要視しなければいけないと感じる。(本多委員)

→今回の資料にはないが、アンケートの内容はずっと同じ内容のものであり、比較は毎回行っている。また、今回からアンケートの「どちらでもない」という真ん中をなくし、5段階から4段階に変更し良いか悪いかの回答にした。また、最後に「分からない」という項目をつけた。「分からない」の回答が多ければ、その部分の発信を学校は行わないといけいないと感じる。また、児童の挨拶はしているが声が出ていない。コロナが大きな理由だが、声の出し方をもっと指導していかなくてはいけない。(小林校長)

・毎日朝、教室でみんな揃って大きな声で挨拶をし、家庭でも朝の挨拶をするように心掛ければ習慣になるのではないか。(山田委員)

・PTAの旗振りの方達が、必ず子供たちに挨拶をするということから始めるのはどうか。子供たちは知らない人への挨拶は難しいが、旗振りの方は安全な方と認識しているのでハードルが低いのではないか。(早川委員)

・以前は、「あいさつ隊」というものがあつた。「あいさつサポーター」を作るのはどうか。(池田委員)

・年齢の問題で、高学年になると恥ずかしくなり挨拶なくなる子もいる。自分から積極的に声を掛けるようにしていきたい。(稲垣委員)

13 報告

学校支援コーディネーターの稲垣委員と、中根さんから、県居サポーターの活動報告があつた。2学期の県居小サポーターの活動は次のとおりである。

日付	学年	内容	サポーター人数
9月5日～ 12月初旬	全学年	毎週火曜日 本の読み聞かせ	毎回5～7名
9月～11月 全10回	5・6年	家庭科ミシン授業の補助	毎回5・6名

9月29日 9月30日	全学年	運動会のテント設営と片付け	大勢
9月5日 9月19日 10月10日	全学年	図書室前、和歌展示の掲示物作成	約6・7名
10月19日	4年	茶道体験教室の補助	11名
10月末	全学年	記念館・県居協働センターに和歌の展示	7・8名予定
11月	2年	町探検の見守り	募集中
11月	1年生	おもちゃ作り	募集中
12月13日	全学年	クリスマスイベント予定	お話メロディ

また、学校支援コーディネーターの本多委員より、県居小サポーターのルールを作成し、これからサポーターを募集する際には、募集案内にサポーターのルールを記載する旨の報告があった。内容は、プライバシーの厳守と安心安全な活動の注意喚起である。

14 連絡

教頭から、次回会議は、令和6年2月20日（火）午前10時20分から県居小学校会議室で開催する旨の報告があった。